

不斉触媒および医薬中間体の受託合成

Chiral Catalysts and Custom Manufacturing

[プロフィール]

当社は、1893年の創業以来無機薬品の製造販売で国内の化学産業をリードしてきました。また、黄リンを出発原料とする有機製品の開発を手掛け、1950年には有機リン系農薬の製造販売も開始しました。

有機リン系農薬の製造技術で養われた精密合成技術を用いて、1985年頃より医薬中間体の受託合成を手掛け、現在国内外の医薬品メーカー3社へ供給しております。福島第二工場に、GMPに準拠した製造設備を建設し、製造・品質管理体制を強化してきました。

また、当社はホスフィンガスをベースに有機ホスフィン化合物の工業的生産技術の開発を進め、独自の製造技術を確立し各種アルキルホスフィン化合物を製造販売しております。

長年培われたP-C化合物合成技術を生かし、不斉触媒配位子(BisP*)の工業的製造技術の確立を目指してきました。BisP*は、1998年に千葉大学工学部の今本教授により開発された不斉触媒配位子で、高い不斉能が認められており、特に不斉還元反応で光学活性なアミノ酸を合成するのに適しております。

[受託事業の紹介]

①キラル触媒を用いた不斉合成：新規のキラル触媒 BisP*を用いた不斉水素添加など、前臨床段階の少量試作から検討致します。

②P-C化合物の製造販売：ホスフィンガスを出発原料とする当社独自技術を駆使して、新規のP-C結合を有する化合物を提供致します。

(1)アルキルホスフィン($R^1R^2R^3P$):石油化学、医薬品製造などでは遷移金属錯体が触媒として商業生産に利用されており、研究段階での少量試作から検討致します。

(2)置換基を有するアルキルホスフィン:グリニャール反応では不可能な官能基の有するホスフィン化合物も提供できます。

③有害廃棄物の生成する合成プロセス:当社は、クロム・マンガン系廃棄物のクローズドシステムを完成させております。重クロム酸ナトリウム・クロム酸・過マンガン酸カリウムを用いた酸化反応。

[ISO関係]

1998年 ISO 9001 認証取得

2001年 ISO14001 認証取得

[お問合せ先]

日本化学工業株式会社 有機化学品部

〒136-8515 東京都江東区亀戸9-11-1

TEL; 03-3636-8046

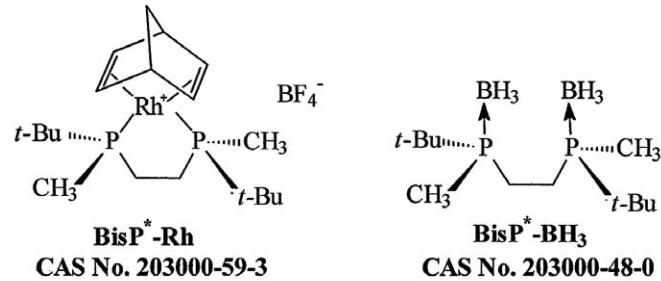
FAX; 03-3636-8117

E-mail; comm.sales@nippon-chem.co.jp

Home Page; <http://www.nippon-chem.co.jp>

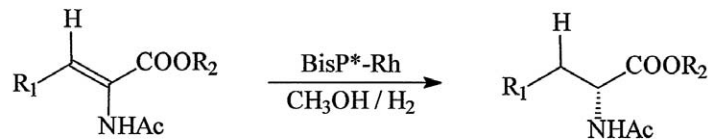
不斉触媒および医薬中間体の受託合成

ビスホスフィン配位子 (BisP*)



BisP*-BH₃のボランを外すことにより、各種金属錯体の調整が可能

- 不斉水素化反応による光学活性なアミノ酸の合成



- ケトン類の不斉ヒドロシリル化反応

